MITSUBISHI

9406R588HD9901

ダクト用換気扇〈低騒音ステンレスボディタイプ〉

形名

VD-15ZAT2(浴室用マイコン制御自動運転タイプ)

取付説明書

販売店・工事店さま用

取付工事を始める前に必ずこの取付説明書をお読みください。
取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

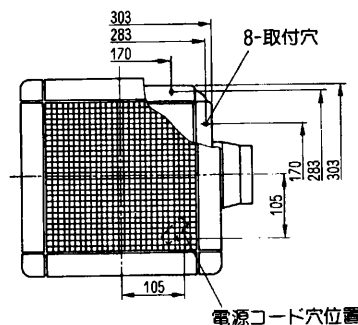
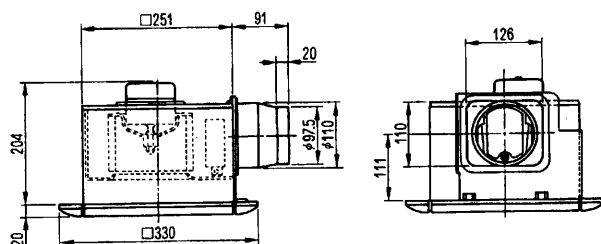
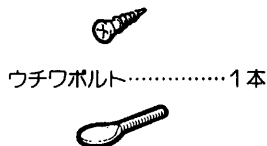
■この製品には市販の埋込スイッチまたは、システム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フード等は三菱換気送風機総合カタログにより別途ご用意ください。
■接続ダクトはφ100の塩化ビニール管、アルミフレキシブルダクト、鋼板管のいずれかをご用意ください。

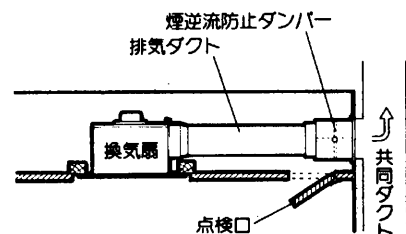
1.外形寸法図

単位(mm)

付属部品

木ネジ(ステンレス製)…9本

ウチワボルト……………1本

2.必ずお守りください

規制 換気扇の取付けには下記のような規制がありますのであらかじめご確認ください。

- 共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により防火の役割を果すものを使用しなくてはならないよう義務づけられていますので、2mの鋼板立上がりダクトを取付けるか、システム部材の煙逆流防止ダンパーを取付けて点検口を必ず設けてください。
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属張りの木造物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクト、換気扇及びベントキャップなどの金属部分とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取付けてください。(電気設備技術基準による)
- ジャバラの使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。

注意 取付場所・取付け・ダクト工事について下記の事項をお守りください。

取付場所

1 高温(40°C以上)になる場所 ×

2 油煙・有機溶剤のある場所 ×

取付け

1 取付けが不十分 ×

2 取付時、手袋を着用

3 効果的な換気を行うために給気口が必要

4 浴室等湿気の多い所ではドレンが滴下する場合がありますが、換気扇の異常ではありません。取付けに際しては、滴下しても不快にならない場所をお選びください。

ダクト工事

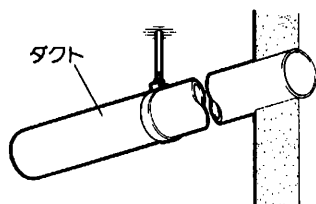
1 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の傾斜をつけてください。

2 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因になります。
- 極端な曲げ
- 多数の曲げ(曲げ数が多くなれば風量低下します。)
- 吐出口のすぐそばでの曲げ
- しぼり(接続ダクト径を極端に小さくする)

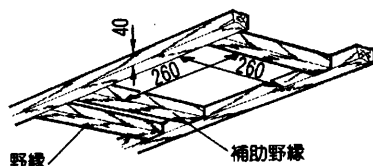
3. 取付方法

取付手順例

1 ダクト工事 → 2 野縁工事 → 3 ダクト接続 → 4 本体の取付け → 5 電気工事 → 6 天井材を張る → 7 グリルの取付け

1 ダクト工事

壁排気穴から本体のダクト接続口位置までダクト配管をします。

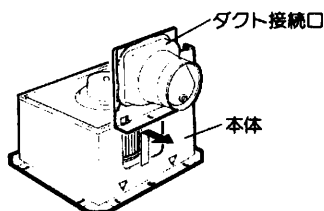
- ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊るしてください。

2 野縁工事

単位(mm)

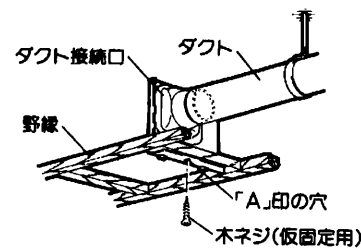
左図のように天井の野縁と補助野縁で取付枠を組みます。

- ダクト接続口を取付ける野縁は40mm以下でないと取付けることができません。

3 ダクト接続

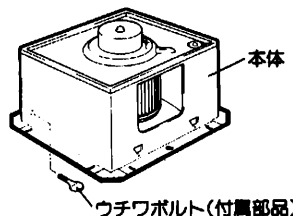
1

本体よりダクト接続口を引き抜きます。

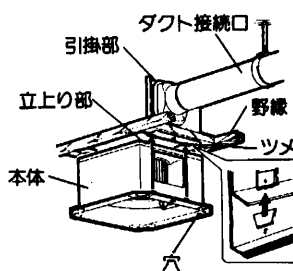
シャッターはテープで固定して出荷されます。
必ずテープをはがして取付けてください。

2

ダクト接続口をダクトに差込み野縁に仮固定します。

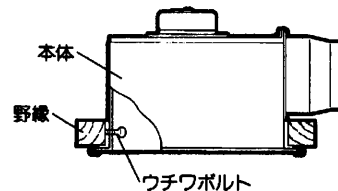
- ダクト接続口(排気口)をダクトに差込み、野縁の角の直角に合わせてすき間がないよう付属の木ネジ(各1本)で仮固定します。(「A」印の穴を使用します。)
- 塩化ビニール管と接続する場合、ダクト方向の微調整が可能です。(全方向7°)

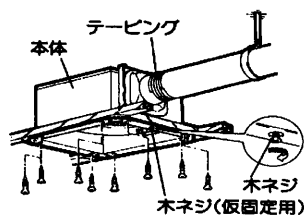
4 本体の取付け

1

付属のウチワボルト(1本)を排気口の反対側にあるネジ穴に仮付けします。

2

本体を野縁にそって差込みます。

- 本体の穴とダクト接続口の内側のツメ及び本体の立上り部とダクト接続口の引掛部がはまりこむように本体とダクト接続口を接続します。

3

ウチワボルトを締付け本体を仮固定します。

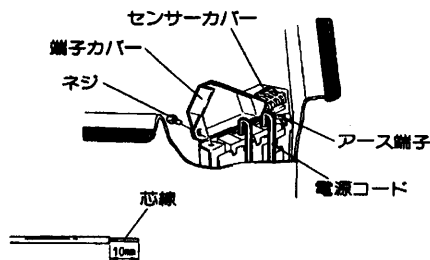
3. 取付方法 つづき

本体とダクト接続部を固定します。

(1)本体がダクト接続部に密着していることを確認してから、付属の木ネジ(8本)で本体をすき間のないようしっかり固定します。
(すき間がありますと風漏れの原因になります。)

(2)ダクト接続口を仮固定している木ネジ(1本)を締付けます。

(3)風漏れのないよう市販のアルミテープ等でダクト接続部をテーピングします。

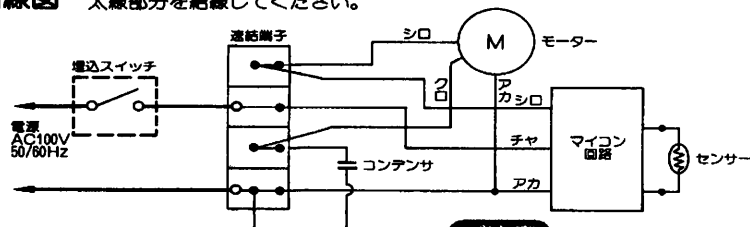
5 電気工事

● 専門の電気工事店へ依頼し、電気設備技術基準に基づいて行ってください。

(1) 本体上部のゴムブッシュより電源コード(屋内配線VVFケーブルφ1.6、φ2)を通します。

(2) 端子カバーのネジ1本を外して端子カバーを開け、速結端子に皮ムキした芯線を確実に奥まで差込みます。(結線図参照)

(3) アース端子を使用して必ず接地工事(アース)を行ってください。

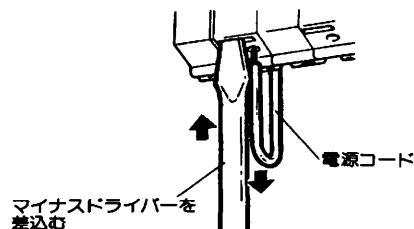
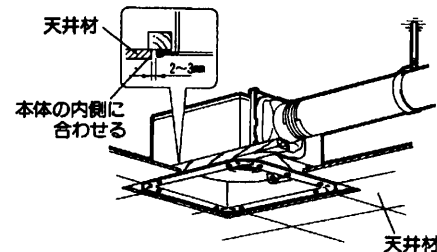
(4) 端子カバーを元通り取付けます。

■結線図 太線部分を結線してください。

ご注意

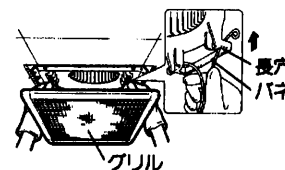
● より線を結線する場合は、棒状圧着端子(市販品)をより線に取付けてから速結端子に確実に差込んでください。

● 電線被ふくは10mmむいてください。本体にあるストリップゲージに合わせて、皮むきしますと便利です。

● 電源コードは、接続部に力が加わらないよう本体付近で約150mmたるませてください。

● 電源コードを速結端子より外す場合は、マイナスドライバーで速結端子の外しボタン(赤色)を押しながら電源コードを引っぱって外してください。

6 天井材を張る

天井材を張ります。

● 本体のフランジ部分と天井材とは必ず2~3mmのすき間があくよう角穴をあけます。

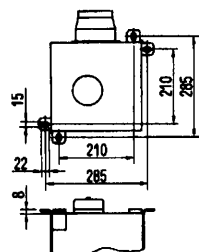
7 グリルの取付け

グリルを取付けます。

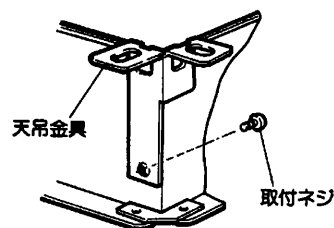
● グリルには、2つのバネが付いていますので両手でバネをつかみ本体内部の長穴に差込み、手を放し、軽くグリルを押せば取付きます。

天吊金具を使用する場合

野縁に強度がない場合は天吊金具を使用して取付ける方法も併用してください。

1

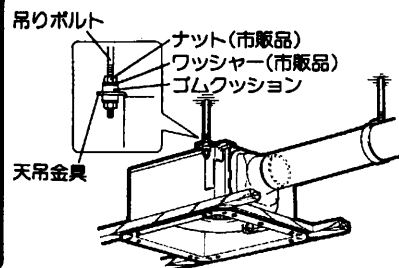
左図の位置にあらかじめ市販の吊りボルト(M8)を埋込みます。

単位(mm)

2

天吊金具P-05TK(システム部材)を取付けます。

● 天吊金具を本体に引掛けて内側より取付ネジで固定します。

天吊金具

取付ネジ

3

本体を吊ります。

● 本体が水平になるよう、天吊金具を吊りボルトに取付け、市販のワッシャー・ナットにて確実に固定します。

4. 試運転

取付工事が終わりましたら次の確認をしてください。

1. コントロールスイッチにて正常な運転ができますか?
2. 振動・異常音はありませんか?

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111

安全のために必ずお守りください

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を⚠警告・⚠注意の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	⚠注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

●図記号の意味は、次のとおりになっています。

	禁止		分解禁止		水場での使用禁止		指示に従い必ず行う		アース線接続

⚠警告

	●交流100V以外では使用しないでください。 （火災や感電の恐れがあります） ●浴室換気扇でも内釜式風呂を据付けた浴室には取付けないでください。 （排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこすことがあります） ●製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。 （ショートや感電の恐れがあります） ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しはしないでください。 （爆発や引火の恐れがあります）
	●どんな場合でも改造はしないでください。分解・修理は修理技術者以外の人は行わないでください。 （火災・感電・けがの原因となります）
	●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付けてください。 （漏電した場合発火することがあります） ●電球を交換するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切ってから行ってください。 （感電することがあります）
	●湿気の多い場所ではアースを確実に取付けてください。 （故障や漏電のときに感電することがあります）

※上記は換気扇全般を示しています。該当する事項を確認して必ず守ってください。

換気扇：販売店・工事店さま用

裏面にも注意事項がありますので必ずお読みください。

9608R588HJ5103

安全のために必ずお守りください

⚠注意

	●浴室内に壁スイッチを設けないでください。 （感電の恐れがあります） ●直接炎のあたる恐れのある場所や油煙・有機溶剤のある場所では使用しないでください。 （火災の恐れがあります）
	●浴室換気扇以外は、浴室など湿気の多い場所には取付けないでください。 （感電および故障の原因となります）
	●本体の取付け工事は十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。 （落下によりけがをすることがあります） ●部品の取付けは確実に行ってください。 （落下によりけがをすることがあります） ●取付けの際は手袋を着用してください。 （けがをすることがあります） ●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。 （接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります）

※上記は換気扇全般を示しています。該当する事項を確認して必ず守ってください。